

# いいだ 市議会だより

No. 191

平成26.7.22

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町



第2回定例会開催 ②  
ズバリ市政を問う ④ ⑤  
(一般質問)

飯田市消防団  
分団消防技術大会の様子

# 第2回定例会

## 飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案など21議案を可決・同意

### 定例会のあらまし

第2回定例会は、5月30日から6月20日まで22日間の会期で開催しました。

飯田市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定について、平成26年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案など、47件が上程されました。うち26件は市長からの報告で、そのほかの17件の市長提出議案について人事案件2件を本会議で同意し、15件を所管の委員会での慎重な審査の後、本会議で原案のとおり可決しました。

市長提出のものほかに議会提出案件4件を本会議で可決しました。

請願は2件を採択、2件を継続審査とし、陳情1件は採択としました。

市長提出議案のうち議案第78号「国民健康保険税の税率の改正」及びこれに伴う議案第86号「国民健康保険特別会計予算の補正」は税額を平均5・3パーセント引き上げること等を内容とするものです。これについては、原案どおりとする委員長報告に対して、反対、賛成それぞれの立場から討論がありました。

また、「国に対し集団的自衛権の行使に関する従来の政府見解を堅持するよう求める意見書

の提出を願う趣旨の請願」2件を継続審査とする委員長報告に対しても反対、賛成それぞれの立場から討論がありました。

これらについては、いずれも採決の結果、賛成多数で委員長報告のとおり可決しました。

また、一般質問では21人の議員が市政全般にわたる質問を行いました。その概要については、4ページ5ページで紹介します。

### 議案に対する質疑と審査

提出議案等については、総務、社会文教、産業建設の各常任委員会に付託され、集中的に審査しました。

質疑等の内容は、6ページから各常任委員会のページで紹介します。

### 本会議での討論

委員会における議案及び請願の審査の結果に対し、本会議で反対、賛成それぞれの立場から討論がありましたので紹介します。

議案第78号及び第86号

### 条例改正及び補正予算に反対

・リーマンショック以降、景気回復に至っていない中、消費税率引上げ等で市民の生活は疲弊している。国保税の引上げを行うことは市が掲げる弱い立場の人に手を差し伸べる姿勢に反する。不足分については一般会計の繰り入れを増やすことで対応すべきであり反対。

### 条例改正及び補正予算に賛成

・大変厳しい選択ではあるが、過去の決算でも毎年ぎりぎりの見込みをしている。所得の減少に伴う国保税の減収分については一般会計から補填するルールを適用した被保険者の負担軽減を図った妥当な判断であり賛成。

請願第2号及び請願第3号

### 継続審査とすることについて反対

・集団的自衛権の行使を否定してきた憲法解釈を一内閣が覆すことは立憲主義の否定であり、請願を採択すべきであり反対。  
・集団的自衛権の行使は憲法上許されないとする政府見解の堅持を求める請願は、早期に採択すべきであり反対。

### 継続審査とすることについて賛成

・世界の安全保障を考えるべきであり、平和的に外交努力で解決できない事態もある。継続審議として議論を深めるべきであり賛成。

### 本会議での反対の意思表示

委員会における市長提出議案の審査結果に対し、次のように本会議で反対の立場から意思表示がありました。

議案第75号〔総務委員会で審査〕

飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について

原案のとおり可決することに反対

### 本会議での修正案の提出

市長提出議案に対し、次のように修正案の提出がありましたので、紹介します。

議案第85号

平成26年度飯田市一般会計補正予算（第1号）

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づきいわゆるマイナンバー制の導入に係る社会保障税番号制度システム整備業務委託料2千6百20万円を削除する修正案

※ マイナンバー制度 国民一人一人に番号を付すことで個人識別性を高め、社会保障、税及び災害対策の各分野での効率性、利便性を高めようとする制度。平成27年度中に導入される。

### 同意した人事（敬称略）

○松尾地区財産区管理委員

今村勝則、岡田明、小木曾博人

○鼎財産区管理委員

金田正昭、矢澤英峯、水口芳昭、野邑圭則

### 議長記者会見を開催

6月23日、市役所議会棟において議長記者会見を開催しました。

### 会見の主な内容

#### ①第2回定例会の主な内容

定例会のあらましのほか、次のことを発表しました。

社会文教委員会の発議で介護保険制度の改正に関連して、国に介護に係る人材の確保その他の適切な支援等を求める内容の議案の提出がありました。これを可決し、国会及び関係行政庁に対して、介護保険制度の運用に関する意見書を提出することとしました。



議長記者会見の様子

#### ②議会報告会の日程等について

まちづくり委員会の協力をいただき、日程が決定しました。今後意見交換会のテーマを設定して周知をさせていただきます。今年で7回目、回を重ねて定着してきたところですが、なお一層充実したものとしていきます。

### 議会報告会開催日程

次の日程で開催します。開会時刻は、午後7時を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

開催日	該当する地区	会場
10月1日 (水)	上村 南信濃	南信濃地域交流センター
10月2日 (木)	三穂 伊賀良	世代交流センター (山本公民館)
10月3日 (金)	松尾 川路 竜丘	生涯学習センター (竜丘公民館)
10月6日 (月)	座光寺 上郷	座光寺公民館
10月7日 (火)	橋北 羽場 丸山 東野	羽場公民館
10月8日 (水)	下久堅 上久堅 千代 龍江	下久堅公民館

# が！ 市政を問う！

一般質問とは、市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来的な方針などを質し、説明を求めるものです。第2回定例会での一般質問の概要を紹介します。(質問順)

※■は、そのほかの質問項目

## 飯田市の環境モデル都市としての特徴と評価は

木下 徳康 議員(会派のぞみ)

Q 他の環境モデル都市と比較して飯田市の評価はどうか。また、国や他都市からの評価はどうか。

A 太陽光市民共同発電事業、メガソーラーといった、LED防犯灯など多様な主体による協働を現実にした官民協働事業の展開が特徴である。国の有識者による実績評価会議、環境施策の視察に訪れる自治体、研究機関の方々からそれぞれ高い評価をいただいている。

## 第2次飯田市環境モデル都市行動計画における分権型エネルギー自治への取り組みは

竹村 圭史 議員(会派のぞみ)

Q 「分権型エネルギー自治」を推進する基盤整備について市としてどう取り組むか。

A 今後、再生可能エネルギーの活用事業を拡大する必要がある。そのためには市民の発電設備を優先的に接続し、確実に地域の電力として活用するための新たな電力網の整備も研究すべきと考えている。

■通学路の安全対策について

## 飯田市の行財政改革における職員給与削減の取り組みは

熊谷 泰人 議員(会派のぞみ)

Q 職員給与削減に向けた取り組みは進んでいるのか。

A 平成8年度以降段階的に削減の取り組みを進めてきている。平成24年度決算では、ピークの平成8年に比べ16.1パーセント減少している。平成25年度の地方交付税削減措置に関しては、平成26年1月の昇給延伸により削減効果を出している。

## 飯田市の政策決定に関わる会議記録の公開の考えは

原 和世 議員(会派みらい)

Q 政策決定に関わる議事録の公開に関して、飯田市における部長会議及び政策会議の会議録の公開と、その方法としてのホームページでの閲覧についてどう考えるか。

A これらの会議の会議録については、他の自治体で公表する動きが出てきているところでもあり、先進事例も参考にしながら公表の内容や方法について研究していきたい。

## まちづくりと景観形成の推進役は

福沢 清 議員(会派みらい)

Q まちづくりと景観形成の推進役について、行政の役割も期待したいがどうか。

## リニア中央新幹線の駅周辺整備に対する構想は

井坪 隆 議員(会派みらい)

Q リニア中央新幹線駅周辺整備に対する構想を、市長としてどう考えているか。

A 駅周辺整備の検討にはアクセス道路が重要だと認識している。アクセス道路の具体化に向けては長野県が主導のリニアを生かした「地域づくり勉強会」等で議論されているところである。そこでお願いをしているほか、機会あるごとに早期に具体化に向けた議論の場を設けていただくように県に切望している。

## 飯田市における公契約条例制定についての考えは

清水 可晴 議員(市民パワー)

Q 公契約条例制定についての考えは。

A 長野県の公契約条例制定の取り組みや他市の事例を研究してきた。公契約を通じた地域経済の活性化、地域企業の健全育成を進めるとともに、公契約で働く人の雇用及び労働条件を守り、よりよい市民サービスを提供していくため、制定に向けた具体的な検討に入りたい。

## 地域おこし協力隊の導入をとり入れる考えは

湊 猛 議員(会派のぞみ)

Q 総務省で取り組んでいる、地域おこし協力隊の導入を上村及び南信濃をモデルとして、中山間地域に取り入れる考えは。

A 地域おこし協力隊は、都市部の若者を地域への定住につなげる地域の独自性を発揮できる有効なメニューの一つであると考えている。地域の強力なバックアップが必要なことから、導入に向けて協議していきたい。

## (仮称)子ども家庭応援センターと教育相談窓口の一元化は

村松 まり子 議員(公明党)

Q 途切れない発達支援体制を整えるため、(仮称)子ども家庭応援センターが担う役割と教育相談の窓口の一元化ができないか。

A 教育相談の窓口となる教育委員会には(仮称)子ども家庭応援センターの検討を行う会議のメンバーとして参画してもらっている。途切れない発達支援を進めるセンターとなるよう会議の中で検討していきたい。

## リニア中央新幹線駅周辺整備基本構想の位置づけは

湯沢 啓次 議員(会派のぞみ)

Q リニア中央新幹線駅周辺整備基本構想の長野県における位置づけは。

A 5月30日にリニア駅周辺整備基本構想検討会議の第1回を開催したところであるが、この会議に委員として県からリニア推進担当部長、下伊那地方事務所長及び飯田建設事務所長に参加いただいている。それ以外にも県等の関係機関との意識のずれが生じないよう、十分に調整を進めていく。

■危機感と期待感を持って取り組む農業政策について

### コミュニティスクールの目的は

永井 一英 議員（公明党）

**Q** コミュニティスクールの目的は、各校の主体性を尊重し、各学校において独自性と個性ある学校運営がなされることだと思うがどうか。

**A** そのようなことだと思う。現在飯田市では小中連携・一貫教育が全中学校区で動き始め、地域色の鮮明な種々の取り組みがなされている。この取り組みには地域の潜在的な力を掘り起こし、知恵や技を次世代に受け継いでいく「地域とともに育つ学校」の姿が見え、より子供に寄り添った仕組みづくりができていくのではないかと考える。

### 児童クラブの改善につながる事項を条例に盛り込む考えは

小倉 高広 議員（日本共産党）

**Q** 児童クラブについて来年度に向けて制定する条例に施設的环境や職員の待遇の改善につながる内容を盛り込む考えはあるか。

**A** 児童福祉法の改正に伴い児童クラブに關し定めることになる条例には、主に設備及び運営の基本事項を定めることになっており、指摘の内容は条例化とは別と考える。職員の配置は国の基準に合致しているところであるが、施設の環境面の改善については段階的に進めていきたい。

### ケミカルリサイクルの研究開発は

森本 政人 議員（市民パワー）

**Q** 新産業として廃棄プラスチック類のケミカルリサイクル（化学原料にして再生する方法）の研究開発は考えられないか。

**A** 今後、情報収集や先進事例を調査していきたい。また、起業を目指す企業があれば、環境技術開発センターへの入居に

よる場所の提供などの支援をしていきたい。  
■信州パーソナル・サポート・モデル事業について  
■ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例について

### 全国学力・学習状況調査の結果の公開は

後藤 莊一 議員（日本共産党）

**Q** 安倍政権の「教育再生」に關し、全国学力・学習状況調査について、結果を公開する考えはあるか。

**A** 学校単位での数値の公表は、数値のみが一人歩きをし、無意味な学校間格差につながる心配がある。また、教育的効果が期待できないこと、少人数の学校では個人が特定できてしまう可能性があることから公表しない方針である。

### 中心市街地活性化基本計画における課題と将来像は

清水 勇 議員（会派のぞみ）

**Q** 第2期中心市街地活性化基本計画において中心市街地の課題と将来像をどうとらえているか。

**A** 「地域の魅力のさらなる向上」、「商店街活性化」、「まちなか居住の推進」、「交通基盤の強化」の4つが重点課題である。将来像は、「リニア中央新幹線の開通を見据え、中心市街地の魅力や求心力を高めることにより、そのメリットを飯田下伊那地域全体へとつないでいく」とし、りんご並木人形劇、城下町が育んだ「美しきまち飯田」の品格あるイメージを「交流」、「産業」、「居住」の各面から磨き上げる、としている。

### 天龍峡温泉交流館の建て替えは

木下 容子 議員（市民パワー）

**Q** 飯田市天龍峡温泉交流館の建て替えは考えないか。

**A** 建物の老朽化が進んでおり、今後施設の運営や管理方針を検討していく中で、施設そのもののあり方についても検討する必要があると考えている。交流館の敷地内にある古民家の活用とも併せ、天龍峡全体の観光のあり方を地域の皆様と協議する中で検討していきたい。

### 親子で作る親守詩（おやもりうた）を普及しては

新井 信一郎 議員（会派のぞみ）

**Q** 家庭での親子のふれあいに「わが家の結いタイム」は成果を上げているが、更に進ませて親子で作る親守詩を飯田市でも普及しては。

**A** 家族のふれあいを短文で表現する三行詩コンクールを実施しており、この取り組みは継続したいと考えている。ご提案を含め様々な取り組みを通じて親子のふれあいや、絆を深めることにつながる働きかけを行っていくことが大切だと考えている。

### 要支援1及び2が保険給付から外されることへの対応は

古川 仁 議員（日本共産党）

**Q** 介護保険制度について、国は要支援1及び2を保険給付から外し、地域支援事業に委ねようとしているが、どう対応するか。

**A** 予防給付から地域支援事業への移行は、市町村の判断により、平成29年度までに実施することとされている。現在移行に当たってのガイドラインが国から示されていない状況であり、今後示されるガイドラインを踏まえて十分な検討を行っていききたい。

### 教育委員会の顔が見えないとの批判への対応はどうか

山崎 昌伸 議員（無会派）

**Q** 教育委員会の顔が見えないとの批判について、前回議会ではホームページの充実を中心に対応したいとの答弁であったが、その後に情報が更新されないなど実務が伴っていない部分があるがどうか。  
**A** ホームページを充実させる取り組みを行ってきたところではあるが、指摘いただいたとおり実務が伴っていない部分があった。答弁と実務の乖離については深く反省し、鋭意改めていきたい。

### 若者たちに故郷の自然を体験させることの必要性の認識は

吉川 秋利 議員（会派のぞみ）

**Q** 学校登山に關し、故郷に帰ってきてほしい若者たちに故郷の自然を体験させることの必要性をどのように認識しているか。

**A** 体験が非常に重要であり、登山もふるさと意識を醸成する一つだと考える。学校登山の実施に係る背景も含め検討していきたい。

### 観光客数が減り続けていることの分析と対応は

木下 克志 議員（会派のぞみ）

**Q** ここ10年以上、市内の観光各所の観光客数が減り続けてきているが、どう分析し、どう対応しようとしているのか。

**A** 長野県全体の観光地利用者数もここ10年景気の低迷とあいまって右肩下がりとなっている。そのような中、この地域ならではのエコツーリズムや体験教育旅行を行ってきた。今後は県が新たに東京都に設けた信州の魅力発信の拠点を活用するなどしながら、民間観光事業者とも協働して飯田の魅力発信に努めていきたい。

# 総務委員会

4月21日に管内視察、6月12日に委員会を開催しました。委員会で  
の質疑等及び管内視察の様相を紹介します。

## 議案第75号

飯田市税条例の一部を改正する条例  
の制定について

### 案件の概要

地方税法等の改正に伴い、法人市民税法人税割の引下げ、軽自動車税の税率の引き上げ等を行う。

## 改正による税収の増減は

**Q** 法人税割の引下げにより市の税収減はいくらか。また、軽自動車税の引上げによる増収額はいくらか。

**A** 仮に法人税額が平成25年度と同額とすると税収減は6千4百万円である。軽自動車税は、平成27年度から既存のものについても税率が引き上げになる原付、小型特殊等にかかるものへの影響額は約1千4百万円増と見込んでいる。

■質疑の後、反対の立場から討論がありました。

### ★反対討論

国内全体の新車購入において軽自動車  
が4割を占めるとの統計もあり、価格・税金ともに軽自動車は庶民の乗り物である。また、当地方のような山間部や農村部では軽トラックを含め、1人1台保有という状況がある。消費税増税と軽自動車税の税率引き上げの影響は大変大きい。

国が定めることとはいえ、軽自動車税の税率は引き上げるべきではない。

■挙手採決の結果、賛成多数で可決しました。

## 議案第85号

平成26年度飯田市一般会計補正予算  
(第1号)案

## マイナンバー制の安全面は

**Q** 社会保障・税番号制度システム整備事業は、情報の流失での不安が指摘されており、安全面での問題にどのように対応するか。

**A** 行政機関や民間企業を監督する第三者機関である特定個人情報保護委員会が設けられ、その委員会の監督・指導に沿った対応を実施することとなっている。

■質疑の後、反対の立場から討論がありました。

### ★反対討論

情報管理の安全の面では大きな不安があり、1枚のカードに多くの情報を入れる危険を考えると、マイナンバー制度の導入は、認めることができない。

■挙手採決の結果、賛成多数で可決しました。

## 請願・陳情審査 市民の願いはどうなった

### 請願第2号

飯伊平和委員会 代表 佐藤 功

■慎重な審査の結果  
「継続審議」としました。

### 請願第3号

下伊那地区平和・人権・環境労働組合  
会議 議長 岡本 佳宏

■慎重な審査の結果  
「継続審議」としました。

### ★請願の要旨

国に対し、集団的自衛権に関する従来の憲法解釈を変更しないよう求める意見書を提出願いたい。

※この2件は、請願主旨が同一のため、審査を一括して行い、採決はそれぞれ行いました。

### ★委員会での主な意見

○集団的自衛権の行使とは、自国が攻められていないにもかかわらず、他国防衛を理由に他国を攻めることであり、戦後の平和と民主主義が崩れ去ることに大きな危機感を感じる。一内閣が自らに都合の良い解釈に変更し、「戦争ができる国」に転換しようとすることは、立憲主義を踏みにじるものであり、意見書を上げていくことは、日本国憲法を守る議員として当然である。

○多くの国民が反対していること、必要最小限の自衛権の行使は、今の法律でも可能であることから請願に賛成し、採択。○日本のみで東アジアの平和が確保できる状況にはない中、集団的自衛権は当然であり、国連でも認められた権利である。

現実的な課題に対処するため、集団的自衛権は必要であるので不採択。  
○国を取り巻く様々な要素があるなかで、地方議会が判断するのは大変難しく、国会の議論を注視しながら、国民的な議論の中で、集団的自衛権について決められることが望ましいので継続審議。

## 陳情第5号

南信州レジ袋削減推進協議会  
会長 今村 良子

■慎重な審査の結果  
「採択」としました。

### ★陳情の趣旨

国に対し、容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書を提出願いたい。

### ★委員会での主な意見

○循環型社会をつくり、持続可能社会への転換を目指すもので、飯田市の環境政策が目指すものと一致しており、趣旨適当、採択。

## 管内視察を実施しました

実施日：26年4月21日

調査項目、視察先等

- ①組織機構・庁舎レイアウトの変更
- ②庁舎整備事業
- ③南信濃消防団詰所
- ④旧木沢小学校整備
- ⑤最終処分場グリーンパレー千代
- ⑥下久堅公民館・自治振興センター  
建設事業
- ⑦集会所整備事業（下山区民会館）
- ⑧リニア関連箇所
- ⑨デジタル放送無線施設整備（消防本部）
- ⑩旧飯田測候所の利活用

# 社会文教委員会

4月22日に管内視察、6月13日に委員会を開催しました。委員会で  
の質疑等及び管内視察の様相を紹介します。

## 議案第78号

飯田市国民健康保険条例の一部を  
改正する条例の制定について

### 案件の概要

地方税法施行令の改正に伴う課税限度額の引上げ等並びに所得割の率及び均等割額の引上げ等を行う。

## 議案第86号

平成26年度飯田市国民健康保険特別  
会計補正予算(第1号)案

■議案第78号及び議案第86号については、相互に関連するため一括議題として審査しました。

## 国保税軽減の際の補填は

**Q** 今回の改正で、国民健康保険税の5割軽減、2割軽減の対象者を拡大することだが、国保税を軽減した際の補填として、国から全額補填されるか。

**A** 国民健康保険特別会計において、国保税軽減分は一般会計からの基準内繰入金として全額補填されている。制度上、国から全額補填されるわけではなく、軽減分の4分の1は市が負担することとなっている。

## 今後の被保険者数等の見込みは

**Q** 前回改定した23年6月の時点と現状を比べると、特に生産年齢人口の割合の減少が著しいが、今後の被保険者数、生産年齢人口の見込みはどうか。

**A** 少子化の進行及び75歳以上が別制度に移行することから、被保険者数、生産年齢人口の割合は、今後も減少する傾向にある。

## 国民健康保険制度の今後はどうか

**Q** 27年度には、最後の団塊の世代が65歳以上に移行することから、生産年齢人口の割合がさらに減少し、50パーセントを割り、1人未満で1人を支える状態となることが推計できる。この状況でいわゆる保険制度として今後も成り立つか。

**A** 一般会計からの基準外繰り入れの増額については、他の保険者からの理解を得にくいこともあり、今回も以前と同様の考えによる改定に至った。今後は、被保険者の年齢構成が変わってきている状況や国保運営の広域化の動きと併せて考えていく必要がある。

■質疑の後、反対の立場から討論がありました。

### ★反対討論

現在の基準外繰り入れのルールを基にした国民健康保険税の改定には反対  
■拳手採決の結果、これら2議案はそれぞれ賛成多数で可決しました。

## 議案第85号

平成26年度飯田市一般会計補正予算  
(第1号)案

## 子宮頸がんの検診の啓発は

**Q** 平成21年度から25年度までに実施したがん検診無料クーポン配付による乳がん及び子宮頸がんの検診受診率は30パーセント程度とのことだが、受診率向上のため、啓発をさらに行うべきだがどうか。

**A** 通知文での周知内容を工夫してきたが、様々な機会を通して、保健師による受診勧奨にも努めたい。

## 介護保険制度の改正に関連した意見書の提出

閉会中の所管事務調査として取り組んできた「介護保険制度の改正」に関連し、「介護保険制度の運用に関する意見書」を国会及び関係行政庁に対して提出することに決定しました。

## 請願・陳情審査

### 市民の願いはこうなった

#### 請願第4号

##### ★請願者

飯田市学校教育職員組合  
執行委員長 田中 清一

##### ■慎重な審査の結果

「採択」としました。

##### ★請願の趣旨

国に対し、国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書を提出願いたい。

★委員会での主な意見  
○昨年も同趣旨で陳情があり、飯田市議会として採択し、意見書を提出した経過もある。趣旨適当で採択。

#### 請願第5号

##### ★請願者

飯田市学校教育職員組合  
執行委員長 田中 清一

##### ■慎重な審査の結果

「採択」としました。

##### ★請願の要旨

国に対し、「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書を提出願いたい。

##### ★委員会での主な意見

○どこに住んでいても子どもたちが等しく教育を受けられる権利を保障するためにも、国が財政的な責任をもつことは、趣旨適当で、採択。

## 管内視察を実施しました

実施日：26年4月22日

調査項目、視察先等

- ①施設開設準備経費補助事業 (株)たまゆら
- ②小中連携・一貫教育推進事業 (竜丘小学校)
- ③飯田古墳群保護活用事業 (竜塚原古墳群)
- ④ヘリポート改修事業 (市立病院)
- ⑤公民館管理・運営事業 (鼎公民館、飯田市公民館)
- ⑥旧飯田測候所整備活用事業
- ⑦菱田春草生誕地整備活用事業
- ⑧歴史研究所調査研究事業
- ⑨生活困窮者自立支援事業 (マイサポいいだ)
- ⑩文化会館管理事業

# 産業建設委員会

4月23日に管内視察、6月16日に委員会を開催しました。委員会で  
の質疑等及び管内視察の様相を紹介いたします。

## 議案第79号

飯田市準用河川条例の一部を改正す  
る条例の制定について

### 案件の概要

流水占用料の算定式及び単価を改定する。

## 条例の対象と収入の変化は

**Q** 条例の対象はどのようなもので、収  
入総額はどのくらい増額になるか。

**A** 現状では、橋のみが対象となってお  
り、2百69件である。

条例の改正により3万9千円余の増額  
が見込まれる。

## 議案第84号

損害賠償の額を定めることについて

### 案件の概要

市営住宅の屋根からの落雪により発生し  
た自動車の損害について、39万円を賠償  
する。

共済からの支払でなく  
市が支払うわけは



積雪時の市営住宅

## 施設の構造に問題があったのか

**Q** 駐車場の場所として不適切であつた  
か、それとも市営住宅の屋根の構造  
に問題があったのか。

**A** 屋根は瓦屋根で通常の雪止めは設置  
されており不適切との認識はなかつ  
た。想定外の大雪では効果がなかつた  
ため、現在の雪止めを改修するのがよ  
いか、落雪を防御する構造物を設置する  
のがよいか、対応を検討している。

**Q** なぜ市が加入する全国市有物件建物  
総合損害共済からの支払でなく、市  
が支払うのか。

**A** 全国市有物件建物総合損害共済は火  
災や建物の破損の際に保険給付され  
るものであり、今回のように落雪によ  
り車両に損害を与えた場合は保険給付の対  
象外となる。

## 議案第85号

平成26年度飯田市一般会計補正予算  
(第1号)案

## にぎわい創出に係る調査の 対象は何か

**Q** 都市計画総務費に関し、中心市街地  
にぎわい創出に係る調査を行うとの  
ことだが、何を調査するのか。

**A** 今後、桜並木の保全と育成に向けた  
検討を行うために、桜の木の現状を  
調査するものである。



吾妻町の桜並木

## 管内視察を実施しました

実施日：26年4月23日

調査項目、視察先等

- ①扇町公園（動物園）整備事業
- ②小道木トンネル工事状況
- ③かぐらの湯 パレットポイラー設備
- ④遠山郷案内看板設置
- ⑤三遠南信自動車道工事状況
- ⑥天龍峡温泉交流館
- ⑦公共下水道天龍峡ポンプ場自家発電装置設置工事
- ⑧松尾浄化管理センター施設増設工事
- ⑨航空宇宙産業クラスター拠点工場建設
- ⑩有害鳥獣対策（サル囲みわな）(上郷黒田)
- ⑪上郷第2配水池築造工事



管内視察の様子(松尾浄化管理センター)



管内視察の様子(天龍峡温泉交流館)

## お詫びと訂正

前号の議会だより(190号)産業  
建設委員会の記事に次のとおり誤りが  
ありました。

お詫びして訂正させていただきます。  
(訂正箇所)  
10ページ最下段陳情第3号の陳情者  
の方の氏名

(正) 矢澤 輝海 氏  
(誤) 矢澤 輝美 氏



# リニア推進特別委員会

6月18日に委員会を開催しました。委員会での質疑等の様子を紹介  
します。

◆リニア中央新幹線計画の現状と今後について、リニア駅周辺整備基本構想検討会議に説明があり、内容について協議をしました。

### ★主な質疑

Q 検討会議では幅広い意見が寄せられていたが、その意見をどこで集約するが。

A リニア駅をランドマークとしてどのように考えるか、それぞれの立場からの視点であり、相反する意見もあった。それらを専門的な知見を活用する中で、都市計画や、まちづくりの考え方など含め、検討会議で議論いただきたいと考えている。

Q 現状において提供できる情報を、各まちづくり委員会にも提供し、情報を共有化する中で、市全体としてリニアへの取り組みを深める必要があると考えるがどうか。

A 現在、国において行われている環境影響評価に関する手続きが終了すれば、事業着手という大きな節目がある。具体的にどのような形で説明会を行うか、検討していく。いずれにしてもリニア事業全体の流れを示し理解していただく必要もあり、適時適切に行えるよう検討したい。

Q 今後は、駅周辺を含め地域全体が点の論議に集中しがちになるが、リニアを生かす将来像をアドバルーン的に掲げ、それに沿った議論を加える必要がある。今一度この将来像を掲げ、地域の求心力を高める取り組みが必要ではないか。

A リニアにはいろいろな課題はあるが、リニア将来ビジョンの都市像をしっかりと考え、発信していく。

Q 事業認可を間近に控えた今、リニアを地域の資産として生かしていくための取り組みも必要ではないか。

A 地域全体として目標を掲げ、それに向けてそれぞれが、どう取り組んでいくかという視点を持つ必要がある。今後アクセス道を含めたハード事業の検討が進むなかで、ソフト事業の部分の取り組みを意識的に、各地区の将来像を地域全体の将来像につなげていくべきである。各地区の将来像と地域全体の将来像を相互に意識しながら地域全体が進んでいく必要がある。

Q 検討会議では、駅周辺エリアの面積まで確定し、それを示すのか。

A 想定する開発範囲は、示す必要があると考えられている。



## 広報広聴委員会が管外視察を行いました

5月20日及び21日に広報広聴委員会が先進地の管外視察を実施しました。視察先は、豊田市議会(愛知県)、四日市市議会(三重県)及び伊賀市議会(三重県)です。視察先では、次のような参考となる取り組みを行っており、これらについて検討し、今後の活動に生かしていきます。

- 1 議会の市民モニター制度
- 2 議会報告会を定例会ごとに行うこと。
- 3 議員を班に分け、班ごとに議会報告会を行うこと。
- 4 小、中、高校生対象のシティ・ミーティング
- 5 出前講座
- 6 こども議会



四日市市の視察の様子

## 議会が行う行政評価

飯田市議会では、飯田市の政策、施策及び事務事業について、評価を行っています。

行政評価は、行政を担う執行機関自らが行うことが多いものです。飯田市議会では、飯田市の基本構想及び基本計画の策定に議決をすることにより関与していることからその進行過程にも責任を持つべきとの考えからこれを行っています。

具体的には、執行機関から資料の提供と説明を受け、その政策、事務または事業について、まず議員一人一人が事業の主体は適切か、より上位の施策等への貢献度はどうか、達成状況はどうか、または廃止すべきか、継続すべきか、拡大すべきか等について評価します。次いで常任委員会ごとに考えを取りまとめます。評価の結果は執行機関に提言としてま

とめ、伝えます。

平成25年度は、56の事業について評価を行い、それらについて提言しました。提言が生かされているかどうかは、提言を行った翌年度の後の予算について、その審議の中でチェックをしていきます。

今年度も7月から行政評価の活動に取り組んでいきます。



市長(手前)に提言書を渡した様子(昨年9月)

# 議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



## ～ロハスな暮らしを～

みなと たくし  
湊 猛

体や心にいいこと、やっていますか？環境のこと考えていますか？愛する人は身近にいますか？未来に向かっていきますか？これはロハス度をチェックする質問ですが、ロハスとは「健康や持続可能性を重視するライフスタイルを意味します。ロハスな暮らしは、毎日ちょっとした見直しから始まります。健康と環境を大切に家族、仲間と心豊かな毎日を送ることなのです。山の暮らしは「人々も自然に囲まれて生きている、生かされている」ということを実感させてくれます。今から10年前に経済アナリスト藤原直哉氏と知り合いましたが、氏は、私たちの住んでいる遠山郷がロハスの原点であると言っております。それ以降氏は、1か月に1回ずつ遠山郷を訪れています。

南アルプスを望む「日本のチロル」下栗の里、武田信玄が遠州攻めの際に立ち寄ったと言われる信玄滝、懐かしい宿場の面影を残す和田宿の集落等、遠山郷は懐かしい「ロハスな光景」をたたえているところです。



## ～美が集う信州伊那谷いいだ～

あらい しん いちろう  
新井信一郎

この季節暮らす伊那谷に、花の便りは事欠きません。それは我が家にも当てはまります。春の桜、藤、初夏の椿に牡丹、紫陽花、ハナミズキそして真夏の薔薇…。母の影響と、父の剪定を見よう見まねで私自身、数年前からその薔薇を育てています。最初の株は色から選択した真っ赤な薔薇でした。今では色、花形ばかりではなく、特に“香り”にも注目しています。目を閉じ、そっといただく香り。クレオパトラや古代王侯貴族をも魅了した薔薇の香り。もちろん当時の系譜とは全く違う品種改良が施されていることは承知していますが、時代を超え共通する美的感覚は同じだと思います。だからこそソリニア新時代、市県を超え、国境をも超え、人々の交流が多種多様となる日々の暮らし。花々を通し、共通の美的意識の高揚、世界自然遺産登録済みであろう南アルプスを望み、世界中の皆さんと分かち合う至福の香り、時間…。美が集う信州伊那谷いいだ、今からとても楽しみです。

# 市議会ウォッチング



この欄では、傍聴者からのアンケートにより、市議会へ寄せられた意見を紹介します。

◇議員各位が真剣に質問している姿に感動しました。また、各々が個性を發揮し、多角的に課題をとらえ、将来に向けての思いを述べていることもよかったです。

◇傍聴者が少ない。一般質問通告表を前もって市民に知らせるとよいのでは。

◇あらかじめ用意された質問、答えを読み上げているだけで討論にならない。もっと市当局と議員のやり取りがあると思っただけだったのでがっかりだった。

◇議員一人一人がよく勉強された内容が出されておりさらなる活動を期待します。

本会議、委員会とも個人、団体で自由に傍聴いただけます。ぜひ傍聴にお越しく下さい。事前予約は不要ですが、団体等大勢での傍聴は事前に議会事務局に連絡をお願いします。

## 議会を中継しています

本会議の様子は飯田ケーブルテレビデジタル714chで中継しているほか、一般質問の様子はユーーストリーム(インターネットによるオンライン動画配信サービス)で中継しています。ユーーストリームは録画映像も見られます。ぜひ、ご覧ください。http://www.city.iida.lg.jp/

## 編集後記

全国の市町村でこの6月議会は国保議会と言われていました。飯田市においてもこの定例会に国民健康保険税率平均5.3%の値上げの議案が市側から提出され、所管委員会、本会議とも慎重に審査、審議をしました。また、集团的自衛権に関する請願の審査においても然りです。そのエッセンスをこの紙面でお伝えできていれば幸いです。

この議会だよりを作成する広報広聴委員会が飯田市議会が発足して1年が経ちます。市民の皆様にも市議会のことをお伝えし、またご意見をお寄せいただく委員会です。その最大の行事である議会報告会の日程(3ページ参照)が決まりました。是非、お越しく下さい。

## 議会の動き(予定)

- 議会への請願・陳情の締め切りは  
8月20日(水) 午後5時です。  
議会事務局へ提出してください。
- 第3回(9月)定例会は8月26日(火) 開会

### 広報広聴委員会

委員長	木下 容子	副委員長	湊 猛
委員	木下 徳康		古川 仁
	新井信一郎	福沢 清	村松まり子